

水晶集中区の状況について

水晶とは、石英のうち先端が尖った六角柱状で透明なものを呼んでいます。

水晶片が遺物包含層内の長さ約3m、幅約1.5mから500点以上集中して出土しました。土柱の上と竹串がある地点に水晶の破片があります。こうして、水晶が集中して出土することは、県内でも珍しく大変貴重です。

現在、出土資料の整理作業をしている段階で、はっきりとした結論は出ていませんが、水晶を加工した際に出た破片の捨て場ではないかと推測しています。